

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：川井宿幼保連携型認定こども園	種別：認定こども園	
代表者氏名：石井 薫	定員（利用人数）： 90（93） 名	
所在地： 〒241-0805 神奈川県横浜市旭区都岡町98-1		
TEL：045-951-2877	ホームページ： <a href="https://www.shuhari.or.jp">https://www.shuhari.or.jp</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 2022年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 守破離		
職員数	常勤職員 14名	非常勤職員 21名
専門職員	保育教諭 24名	栄養士 1名
	調理・保育補助 9名	事務職 1名
施設・設備の概要	保育室 5室	トイレ 5ヶ所
	調理室 1室	事務室 1室
	支援ルーム 1室	休憩室 1室
	園庭 有	

③理念・基本方針

就学前の子どもへの教育・保育に関する法律に基づき、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして乳幼児の子どもに対する教育、並びに保育を必要とする子どもに対する保育を一体的に行い、これらの子どもの健やかな成長が図れるよう明るく衛生的な環境において、その心身の発達を助長するとともに、保護者と地域に対する子育ての支援を行う。教育・保育の基本姿勢として種々の法的規制を遵守し、常に計画・実践・評価反省・改善行動を行いながら継続的改善を目指す。子どもや家庭に対しては、わけへだてなく教育・保育を行い、人権を尊重しプライバシーを保護することを第一義とする。子どもにとって常に良い教育・保育を提供し遂行するために、専断的な姿勢に陥らないよう、保護者から意見や要望があれば真摯に傾聴し、不明なところがあれば平易に説明をしてよりよい教育・保育の為に理解を求め、職員一人ひとりが努力研鑽することを基本とする。

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

- ・恵まれた自然環境のもと、戸外活動、探索活動を多く取り入れている。年間を通して1歳児～5歳児までの年齢に合わせた散歩コースを設定している。3～5歳児は月に1回「あさひ探険隊」という活動の中で1年間を通した探索を行い四季の変化に気付いて興味や関心を持って主体的に行っている。
- ・ズーラシア動物園や自然豊かな公園が近隣に多くあり、自然環境への意識を育てている。
- ・園庭の他に地域の「都岡スポーツ広場」を使用することで、子どもが十分に全身を使い多様な動きを体験して遊び込むことができ運動発達を促すことができる。
- ・給食は子どもの食生活を充実させるために和食中心の献立である。
- ・薄味で素材の旨味を活かした調理 ・天然のだしを使った味付け ・旬の野菜を多く使用 ・食器は強化磁器を使用 ・適温での食事の提供等。食の大切さを保護者に伝えている。
- ・おやつはスキムミルクから作った手作りのヨーグルトを提供している。
- ・園独自のパソコンシステムを活用し、職員の仕事の軽減を図っている。子どもに関する情報や保育の記録などあらゆる情報がパソコン内で共有されている。子どもや保護者に適切な対応が可能になっている為保護者から信頼されている。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和4年4月11日（契約日） ～ 令和4年11月17日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	回（ 年度）

## ⑥総評

### ◇特長や今後期待される点

1)園の理念・基本方針に基づく保育が保護者の評価につながっています  
法人として「教育・保育の理念」や基本方針を明確にして保育に取り組んでいます。園では法人共通の理念・基本方針の周知を進め、園運営の基本となる理念・基本方針に則った保育が展開されています。園長は自らの役割を示し、強いリーダーシップを発揮して園体制を整え、職員の理解を得ています。保護者も理念・基本方針を認めており、子どもの心身の発達につながっていると評価されています。

2)豊かな自然環境のもと地域と関わりの深い保育が行われています  
自然豊かな環境のもと、充実した戸外活動が行われています。幼児クラスでは1年を通して自然と関わり、四季の移り変わりを感じ取れるような探索活動を行っています。また、近隣に地域の方々が管理している広いスポーツ広場があり、地域の方のご厚意で自由に使用することができ、戸外で活動の充実に繋がっています。他にも地域の方々との交流が盛んで、近隣の公園の花壇と一緒に花を植えたり、園に招待して伝承あそびをするなどの交流があります。園内の柿・ザクロ・みかんなどの樹木も地域の方の協力のもと剪定にされ、日々関りを持ち、地域に根差した園として運営されています。

3)「園児管理システム」により保育の情報が職員間で共有されています  
法人オリジナルのパソコンソフト「園児管理システム」には、児童票・保育日誌・各種指導計画・意見要望苦情解決・行事予定など子どもに関するあらゆる情報がリンクして記録されています。そして、全職員はいつでも園内の全てのパソコンから閲覧することが可能です。このシステムにより、保育に関する多くの情報が共有化され、保護者への対応が園全体で行えることなど様々なメリットがあり、保育の質の向上につながっています。出勤時にはパソコン画面から前日の状況、その日の予定などを確認して業務に入ることで、伝達時間の短縮や伝え漏れの防止にもなり、業務の効率化にも結び付いています。

4)相談・意見受付の環境の更なる取組が期待されます  
職員は送迎時に保護者と積極的にコミュニケーションを図り、園での様子や家庭での様子などの情報交換を行う中で信頼関係を築くように心がけています。定期的な個人面談だけでなく、要望や子どもの様子から随時面談を行っています。子育てに疲れている様子の保護者には、リフレッシュを促し、就労以外でも土曜保育の利用を認めるなど保護者支援を進めています。しかし、相談したり、意見を言いやすい雰囲気については、理解を得ている保護者は7割程となっており、更なる取組の余地がある状況です。コミュニケーション、体制の強化により、さらに信頼関係を深められることが期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

民間移管を受けて保育園で2年経過、今年度は幼保連携型認定こども園に移行し第三者評価を受審いたしました。川井地区での公立園からの歴史と、保護者からの期待を受け、職員一人一人が取り組んだ2年半余りの教育・保育について評価基準に沿って見直し、園全体で共有することが出来ました。意見交換をすることで、法人の理念や基本方針を確認徹底することにもなり、これからも定期的な自己評価を実施し、職員の資質向上に向けた人材育成を継続していきたいと思っております。保護者の皆様には、アンケートのご協力を頂き感謝申し上げます。民間移管後の園運営についての皆さまからの感謝と励ましの言葉は、職員には大きな励みとなると同時に、課題も明確になりました。今後とも、園からの情報発信は、より具体的に表示し理解していただける工夫をしていく努力をしてまいります。教育・保育の方向性を見極め、保護者と共に幼児教育・保育の重要な時期を、豊かな自然環境の下で「非認知能力」の育ちと、一人一人の自主性を育むことのできる園を目指してまいります。職員一同「教育者」としての自覚を持ち、日々の教育・保育を積み重ね、地域の子育て支援を担う信頼される園を作っていきたいと考えております。評価員の皆様には、当日園の環境や現場の保育、ヒアリングに基づき保育内容や運営について確認され、今後の課題を示して頂き感謝いたしております。

これからも地域の皆様をはじめ多くの方々に支えられ、この地になくてはならない園としての歴史をつないでまいりたいと思っております。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり